

生産技術革新部門

鹿児島県出水市 有限会社さつま農場

(代表：道上^{みちうえ} 裕治^{ゆうじ} 氏)



○ 経営規模：養豚 10,650 頭、飼料用米 1.3ha

(注) 数字は令和4年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 親族の経営する養豚経営を、8千万円の負債ごと買い取る形で農業に新規参入した。基本技術の改善を徹底的に行うことで習得した高い技術力と強い探求心を持って飼養環境の改善に取り組み、一代で母豚約380頭、売上高5億円を超える県内トップレベルの養豚一貫経営を確立した。
- ・ 養豚の衛生対策については、風向き等を考慮した農場設計や製薬会社等と連携したワクチネーションプログラムの実施など、様々な工夫を重ねながら強化を図った。
- ・ 採卵鶏経営における光線管理で産卵数を向上させる技術を豚に転用することを検討し、照度センサー等を使用した光線管理の実験を繰り返して技術を確立した結果、繁殖成績が向上し、一腹あたり分娩頭数が1.5頭増加した。
- ・ 肥育豚の飼料に飼料米を取り入れ、ステージ毎に配合割合を調整しながら給餌している。また、肉質改善のために飼料の研究を重ねながら、サツマイモや温泉水を加えた結果、肉質が向上し、ブランド豚として高価格での取引を実現できている。